

預金口座から現金を不正に引き出す手口を確認！

全国で、大手通信事業者が運営する電子マネー決済サービスを悪用して、預金口座から現金を不正に引き出す手口が確認されています。

電子マネー決済サービスやネットバンキングを契約していない預金口座も被害に遭っており、預金口座番号や暗証番号等の個人情報が盗まれないように注意が必要です。

大手事業者等を装った「フィッシング」に注意！



預金口座番号や暗証番号等の個人情報が盗まれる代表的な手口として、「フィッシング」があります。

その多くは、

- 宅配便の不在通知
- 金融機関、クレジット会社、通信事業者等を装ったセキュリティ確認通知
- ネット通信販売事業者を装った本人確認、アカウント更新通知 等

をパソコンメールや携帯電話のショートメッセージに送り付けて、偽サイトに誘導したりウィルスに感染させたりして、預金口座番号や暗証番号を盗みとるという手口です。

このようなメールがきても安易に信用せず、添付されたURLは開かないようにしてください。また、サイト上で個人情報を入力する際は、正規サイトかどうか確実に確認をしてください。

IDやパスワード、暗証番号の使い回しに注意！



スマートフォンの普及により、インターネットサービスや電子決済サービス等で、IDやパスワード(認証情報)の設定が多くなっていますが、同一の認証情報を複数のサービスで使い回していると、どれか1つのサービスから認証情報が漏れた際に、他のサービスにも不正アクセスされて被害に遭うおそれがあります。

預金口座の暗証番号も同じです。

他のサービスで使用してるパスワードは使用せず、パスワードの文字列は様々な文字種を組み合わせ、設定範囲内のできる限り長めに設定するように心掛けてください。

今後、大手通信事業者や金融機関を装い、被害の保証やセキュリティ対策等と称して、携帯電話にショートメッセージが送付される可能性もありますので、十分に注意してください！！！！

